

## 第3回 キヤノン道央CTユーザー会を開催！

### キヤノンメディカルシステムズ 北海道支社

まだまだ冬の寒さが残る3月16日、3回目となるキヤノン道央CTユーザー会が開催されました。本来このユーザー会は2018年9月8日（土）に実施する予定でしたが、直前の9月6日（木）午前3時7分に発生した北海道胆振東部地震（最大震度7）の影響により延期となっていました。そのためプログラム内容は9月当時から変更せず、皆様のご支援を頂きながら無事半年後に開催する事が出来ました。当日は遠方のお客様にもお越し頂き、合計54名の先生方が参加されました。質疑応答やディスカッションも活発で、非常に盛況な会になったと感じています。

#### 第3回 キヤノン道央CTユーザー会

2019/ 3/16 (SAT) 14:00~17:30 (受付開始13:30~)  
TKP札幌ビジネスセンター カンファレンスルーム5A

14:00 開会挨拶 北海道大学病院 笹木 工

14:05 キヤノンメディカルシステムズからの情報提供  
座長：華岡青洲記念心臓血管クリニック 山口 隆義

- 技術講演 Deep Learning Reconstruction 『AICE』
- アップアワー

15:00 画論受賞講演 座長：札幌医科大学附属病院 平野 透

- 『遊走脚』 NTT東日本札幌病院 金山 智博先生
- 『心臓サルコイドシス』 華岡青洲記念心臓血管クリニック 近藤 優一先生

— 休憩 —

15:30 ユーザー発表&ディスカッション 座長：勤医協中央病院 船山 和光  
小樽済済会病院 平野 雄士

- 『低線量肺がんCT検診におけるAIDR3Dの活用』 浜仁会円山クリニック 田内 慎一先生
- 『当院におけるSEMARの使用経験』 王子総合病院 川村 真一先生
- 『当院における肺癌術前肺動静脈3D-CTAの現状』 北海道大学病院 山口 仰先生

Access



TKP札幌ビジネスセンター カンファレンスルーム5A  
札幌市中央区北3条西3丁目1-44 ヒューリック札幌ビル5F  
● 札幌市宮前北線 さっぽろ駅 9番出口 徒歩  
● JR札幌駅 南口 徒歩5分  
● みずほ銀行の看板が目印です

※駐車場のご利用はございませんので最寄りの公共交通機関をご利用ください  
※14時以降は1階正入り口が閉まるため地下からの出入りとなります。

Planned by 北海道CTユーザー会

笹木 工 (代表世話人)、船山 和光 (副代表世話人)、平野 透、平野 雄士、山口 隆義 (世話人)

Information  
キヤノンメディカルシステムズ 北海道支社 営業推進部 井上 亨  
TEL:011-795-1131 / FAX:011-795-1104 E-mail: CMSC-empouser-admin@medical.canon



### 第3回 キヤノン道央CTユーザー会プログラム



会場の様子。当社からの情報提供も真剣に聞いて頂きました。

画論受賞講演では、札幌医科大学附属病院 平野先生の座長の下、画論 25th に受賞した 2 名の先生にご講演を賜りました。簡単に各演者の先生方の内容をご紹介します。

■画論 25th 受賞症例①：「遊走脾」

演者：NTT 東日本札幌病院 金山 智博先生

遊走脾という症例を聞いた事がありますか？脾臓が正常位置から移動したり捻転したりする稀な症例です。今回の場合、脾臓は骨盤内に位置しており、腹腔鏡下脾臓固定術前造影 CT を撮影。脾動脈と脾静脈のそれぞれの走行を評価するために撮影タイミングを工夫すると共に、患者が 20 代であることから線量低減についても工夫して撮影されています。



■画論 25th 受賞症例②：「心臓サルコイドーシス」

演者：華岡青洲記念心臓血管クリニック 近藤 優一先生

サルコイドーシスとは、臓器に肉芽腫を形成する炎症性疾患であり、心臓に病変を生じた場合は房室ブロック等の刺激伝導障害や心室壁の浮腫・菲薄化、左室収縮不全等の症状が発生する病気です。受賞施設では遅延造影を撮影し、SMILIE (Subtraction myocardial Image for LIE) を作成することで遅延造影画像の心筋コントラストを向上させ、心筋性状の評価まで CT にて行われています。

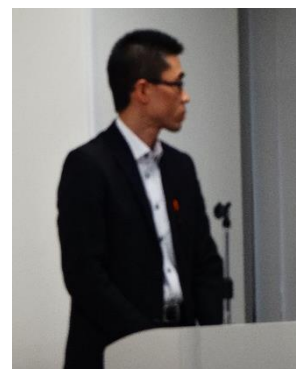


ユーザー発表 & ディスカッションのコーナーでは、勤医協中央病院 船山先生と小樽掖済会病院 平野先生の座長の下、3 名の先生が講演してくださいました。

■演題①：「低線量肺がん CT 検診における AIDR3D の活用」

演者：溪仁会円山クリニック 田内 慎一先生

検診メインの施設として、16 列 CT である Alexion を使用し低線量肺がん CT に力を入れていて、AIDR3D (Hybrid IR) の強度や使用する関数の検討結果をご紹介します。



■演題②：「当院における SEMAR の使用経験」

演者：王子総合病院 川村 真一先生

320 列 CT Aquilion ONE GENESIS Edition を用いて、様々な部位に留置された金属に対する SEMAR (金属アーチファクト低減技術) を使用した症例を複数ご報告頂きました。Dr.からの画質評価は良好とのコメントを頂いています。



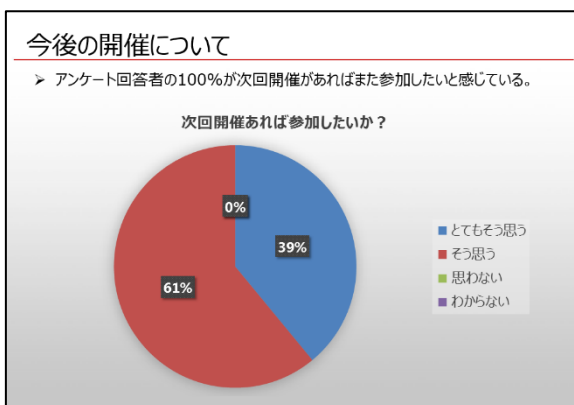
■演題③：「当院における肺癌術前肺動静脈 3D-CTA の現状」

演者：北海道大学病院 山口 仰先生

肺動静脈分離撮影のポイントを中心に、TBT 法の撮影タイミングの検討等を行い、2 相撮影の紹介を行って頂きました。会場には肺動静脈分離撮影に 1 相撮影を採用している施設の先生も居り、活発なディスカッションが行われました。



座長を務める舩山先生と平野先生（左上）と会場ディスカッションの様子。



アンケート集計結果（今後の開催について）

今回のユーザー会で集計したアンケートではお客様の満足度は非常に高く、アンケートを記載した全ての方に次回も参加したいと感じて頂けたようです。今後もより多くのユーザー様に満足して頂けるよう努めて参りますので次回のキャン道央 CT ユーザー会もご期待下さい!!